

札幌中学校区パートナー校における第1回学校運営協議会開催！

5/19(火)に、札幌中、札幌小、伏古小、伏古北小の4校の学校運営協議委員の皆さんと各校の校長が札幌中に集まり、第1回学校運営協議会を行いました。

司会 札幌中教頭

1. 開会のことば
2. ご挨拶
札幌中学校 校長 田中 健児
3. 委員の任命について
4. 規約の確認
5. 代表及び副会長の確認
6. 札幌中学校区 グランドデザインについて
7. 各校学校運営等の基本方針について
札幌小→伏古小→伏古北小→札幌中
8. 今年度の取組に向けた意見交換・質疑応答
9. 閉会のことば

会の中では、今年度の札幌中学校区のグランドデザインや、各校の学校経営方針について校長先生方より説明がありました。

また、6/9(火)に開催される先生方の札幌教研春の研究集会に、学校運営協議委員の皆さんを御招待したいこともお伝えしました。



さらに、昨年度の各校の分科会における議題や方向性をもとに、今年度の二つの課題について各学校ごとで話し合いが行われました。

<伏古小分科会での話し合い>

- ① さっぽろっ子自治的な活動として「あいさつ」を小中ともに重点として行ってきたがどのように進化させていくか？

【現状】校内では、あいさつはできている子が多いが、地域ではできない子もいる。

時間帯と相手によって、あいさつできるか子どもも悩むのではないかな。

大人からは朝の時間以外は声を掛けにくい。

→朝だけでも小学生と中学生があいさつしてみる。

お互いに顔がわかるようになり、知ることができるようになると、どこかで会っても声を掛けやすくなると想定しました。

- ② 札幌市学校教育の重点である「子どもの声を聴く」について、学校運営にどのように反映させていけばよいのか？

【現状】学校経営の重点目標の一つとして、「自治的な活動の推進」を位置付け全職員が意識するようにしている。

委員会やクラブ活動で意見を出し合う場を設定すると、意見が出されその意見が正当であるための調査等を行う経験や意見を受け入れられた経験を蓄積して中学校で発揮できるように考えている。

→小学校で意見を出し、その意見によって何かが動く経験を積み重ねさせる。

小学校で自分たちの意見が聞き入れられ、更に調査やアンケート等の意見集約や価値の測定等を行う経験は中学校での活動に寄与すると想定しました。